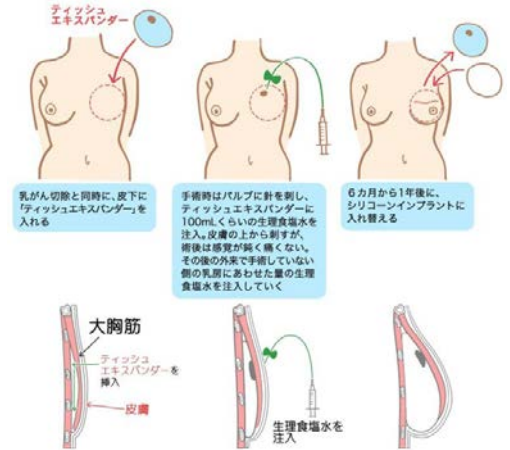


主 催： チームブレストケア

テ ー マ： 乳房手術後の固定バンドの検討ー改良と患者指導のための取り組み

活動内容： 乳房手術後は、手術患部を保護すること、皮膚を確実に生着させ適切な圧迫で創部の出血を抑えること、また再建術においては、組織拡張器（TE）の上方移動を防ぎ、乳房形成時の形を整えることが必要である。これまで当院で使用していたアルケアバストバンドという胸部固定帯は、もともと肋骨骨折時の固定帯として使用していたものであり、素材の問題から水疱を形成するなどのスキントラブルが生じ易かった。また TE 挿入後の維持的な固定を行う際はこれを細断して使用していた。患者にとって皮膚トラブルのみでなく、外観的にも好ましいとは言えず、長期使用にあたっては下方にずれる等のトラブルもあった。そのため安楽で効果的な胸部固定帯を医師・病棟看護師と検討し、開発した。



活動内容

1) 胸部固定帯の装着体験

- ・現在使用中のアルケアバストバンドエースとユーコーバストバンドを装着し比べてもらいその使用効果を評価した。
- ・上記の意見や皮膚トラブル等の観察を行った結果、ユーコーバストバンドも皮膚トラブルや値段、外観的満足度においては満足の得られる結果が出なかった。



2) 新しいバストバンド開発

- ・上記結果より乳腺外科医師やファッションリフォームエース㈱の協力を得て目的に研究に参加してもらい、バストリボンを作成した。
- ・4月以降、手術を受けた患者へ患者に協力の同意を得た上で新しいバストバンドを使用した。
- ・素材や形状に対する患者の意見をもとに、皮膚トラブル、安楽への影響を検討し現在の製品に決定した。



3) 11月から広島大学病院売店で販売（3500円）を開始している。

